

第Ⅱ期 (H30～R4)『文理協働・理科融合による科学的
人材育成法開発と地域協働型研究
支援組織の構築』**①文理協働による科学系人材育成と
理科4分野融合科目の開発**

- 【成果】文理協働型課題研究の指導法開発
4領域融合教材の開発と実践、環境学や科目間
連携の意識向上
- 【課題】文理協働の成果を高めるため、生徒個々の
文理系両面の学びを深める必要性
生徒の興味関心を高める科学教材への発展

**②大学・産業界との地域協働支援組織
の構築**

- 【成果】外部機関との連携協力数・指導助言数の向上
2大学との常時接続体制の構築、他校合同発表会
- 【課題】生徒・教師の外部連携が個々のアプローチに
よる地域中学校・他高校への連携拡充の必要

③SSHキャリアノートによる指導法開発

- 【成果】キャリアノート「M-STEP」開発と指導法蓄積
全校体制の課題研究指導の確立
- 【課題】課題対応力向上・指導法共有のための改善

④国際性豊かな科学系人材育成

- 国内外コンテスト上位入賞、兼部生徒の増加と活躍
- 【課題】専属科学部生徒数の減少、専門性の高い
研究支援体制強化

**改善・
発展****第Ⅲ期 (R5～R9)**『ながさき探究プラットフォームを基盤とした
自己と社会の未来をデザインできる科学系人材育成』**①『南高STEAM』の実践**

- 【目的】全教科の授業と学校設定科目「SS探究」「自然科学探究」連携による
教科・科目を横断し、多様な視点に立った課題対応力の育成
- 【概要】課題研究、教科横断型M-S講座、英語と理科連携強化、データサイエンス講座
キャリアノートの充実による生徒のキャリアプラン作成と支援手法の継承、普及

② 学校設定科目「自然科学探究」の実践

- 【目的】「探究の過程」を軸にした理科4分野融合科目による理科への興味関心の
高揚、探究手法の基本スキル習得
- 【概要】実験・演習を厚くした新規教材開発と実践、評価法の研究と普及

③『ながさき探究プラットフォーム』の構築

- 【目的】外部連携強化によるSSH活動の充実、科学系人材育成支援体制の強化、
中学校・他高校との連携による地域の科学教育の活性化
- 【概要】連携拡大、探究の蓄積、ジュニアサイエンスラボ、探究と理数ワークショップ

④ SSH科学部の振興による科学技術人材育成

- 【目的】外部連携強化による研究活動の深化、科学系コンテスト・外部発表会への
参加数の増加、SSH事業のリーダー育成、生徒間連携推進
- 【概要】専門性の高い課題研究、外部講師講座・フィールドワーク等の重点化
Sクラス(2年次)の編制、他高校生・中学生との科学を介した交流

